

A 家族・家庭と子供の成長

(3) 幼児の生活と家族

ウ 幼児と触れ合うなどの活動を通して、幼児への関心を深め、かかわり方を工夫できること

ノート P11. 18

～幼児との関わり方を考えよう～

ねらい：幼児の体と心の発達についての学習をもとにして、幼児の気持ちになって考える活動から、保育園訪問では幼児とどのように関わったらよいか考える。次の「幼児とのふれあい体験をしよう」の課題設定、訪問計画につなげる。

① 幼児の気持ちになって、どのように関わったらよいか考えよう。 **学習ノート P11**

グループごとに、それぞれ体験してみて、分かったことをまとめる



参考 次のことを体験し、幼児について考えてみよう！

「幼児の気持ちになって、どのように関わったらよいか考えよう。」

やってみる事	感じたこと、思ったこと	幼児と接するとき工夫できること
① 幼児の背の高さに目線を合わせてみよう。	今の自分の背の高さから幼児の背の高さになると、急に机などが大きくなるようになった。	自分も同じ目線になって、低くして接すること。
② 言葉を使わずに、自分の気持ちを表現しよう。	通常言葉ではなして、気持ちを伝えるのがほとんど出来なかった。幼児は大変だなと思った。よく伝わらなかった。	何を伝えようとしているのかを分かるように、よく見て、手や幼児の事を分かってあげる。
③ 軍手を3枚重ねて手にはめ、ボタンをとめてみよう。	指が太い分ボタンがすべて通らなかった。だから、はしを挟んだら通ったと感動した。やりやすかった。	とめられなくてこまっていたら、やり方を教えてあげて、手伝ってあげる。一緒にやる。
④ 同じく軍手を3枚重ねて手にはめ、はしを使ってみよう。	おしではしを通すのが通らなかった。利き手なのに手がすべて通るとしても、おしで通すのは、大変だなと思った。	後ろから手をつむむようにして、はしと一緒に通してあげる。食べさせてあげる。

感じる。	なるべく自分も机がた、幼児と目線を合わせる。目線を低くする。
動きが	1つ1つの動きを注意深く観察し、なるべく読みとる。お腹痛いの？などときいてあげる。
③	かなりやりづらいが、④よりはだいぶ良い。成功した。
④	非常にやりづらい。はしを持つのも困難。何とか持てても、物を掴めない。
⑤	はいはいをして、室内を移動してみよう。
⑥	きき手と反対の手で、 Spoon やはしを使ってみよう。
⑦	赤ちゃん人形や、妊婦体験をしてみよう。

用意するもの：はし、 Spoon 軍手、幼児の実物大パネル

② 幼児の心の発達について学習したことを振り返る。 **学習ノート P18. 1**

写真を見ているいろいろな情緒をあげてみる

例) ・喜び ・嫉妬 ・心配
・悲しみ ・愛情 ・怒り
・恐怖

例) ・喜び 嫉妬、心配、羨望、羨望、羨望
・悲しみ 怒り、嫉妬、取っ掛かり

③ けんかの写真を見て、どのような場面かどのような声をかけたらよいか考える。 **学習ノート P18. 2**

写真は拡大して黒板に掲示する。

2. 左のけんかの写真はどんな場面だろう。想像して書いてみよう。

①場面 … 車のおもちゃの取り合い
②けんかの理由や原因
自分の気持ちをうまく言葉にできなくて
③あなたならどのようにことばがけをするだろう。
順番に遊ぼうね

①場面 … おもちゃの取り合い
②けんかの理由や原因
どちらも、このおもちゃをゆずると(ないから)
③あなたならどのようにことばがけをするだろう。
時間を決めて順番でやる。

④ 保育園訪問で幼児にどのような言葉がけをしたらよいだろう。

・グループで発表し合う。→全体で発表し合う。

③あなたならどのようにことばがけをするだろう。
順番はしっかり守ろうね。おもちゃが仲間、布おもちゃは
借ってあげてね。

③あなたならどのようにことばがけをするだろう。
いったんふたりをばなして、おきやませておき
なかなまりさせる。ふたりでいっしょに遊ぶね

おもちゃのことではなく、何か食べ物のお話をして、おもちゃのことから目を
はなす。

自分の思っていなかった
言葉がけや、具体的な対
応の仕方があるのだな

☆ 学習ノートの展開の順 (幼児について知ろう、幼児の成長と発達についてまとめよう)
ではなく、幼児とのふれ合い体験につなげるための学習としてノートを活用した例です。